

jarl.com サーバ移行資料

2002.11.8

関西デジタル通信フォーラム
水島

1

移行の目的

- 会員むけインターネットサービスの向上
JARL Web サイトとの連携
メール転送サービスの自動化
- K D C F の管理負担の解消

2

現行の jarl.com サーバ

- 転送サービス 14,500名
転送メール数 1日2万～4万通
- Web サイトサービス 150
- ML サービス 150
- 検索サービス 700
- サーバは民間ISP(和歌山・サイプレス)にレンタルハウジング
- システム制御権(root権限)込みでKDCFの運営担当(6名)がサーバ管理

3

KDCF管理チームが行っている業務

1. 転送サービス

1-1 新規登録時

- 1-1-1 転送台帳とのチェック(既登録の有無)
- 1-1-2 必要データのテキスト形式変換
- 1-1-3 サーバへの登録
- 1-1-4 転送台帳への新規追加
- 1-1-5 登録者への案内メール送信
エラー発生時の記録など 広報課へ結果報告
ループテスト結果報告の記録
- 1-1-6 登録・削除履歴簿への追記
- 1-1-7 登録推移 JARL.COM Web への掲載
- 1-1-8 登録検索データの更新
- 1-1-9 一斉メール発信データの更新
- 1-1-10 登録初期の質問に対する対応
- 1-1-11 障害ありの報告への対応

1-2 転送先の変更

- 1-2-1 自動手続システムのメンテナンス
- 1-2-2 ログの集計と転送台帳への転記(月に1回)
手続未完了者への通告
- 1-2-3 ログの監視及びパスワード間違いの原因解析と本人への連絡
- 1-2-4 手続に関する問合せの対応
- 1-2-5 パスワードの個別リセット

1-3 退会会員対応

- 1-3-1 会員資格照合と該当者リスト作成
- 1-3-2 自己申告者への対応
- 1-3-3 削除リスト仕上げ
- 1-3-4 サーバからの削除
- 1-3-5 転送台帳の更新
- 1-4 復活会員の対応およびコールサイン変更会員の対応
- 1-4-1 申告者との対応
- 1-4-2 転送復活のサーバ変更
- 1-4-3 登録復活の案内

4

KDCF管理チームが行っている業務

1. 転送サービス (続き)

1-5 不定期作業 (対ユーザ)

1-5-1 ループメールへの対応 (当人への連絡と
対処依頼、サーバの登録強制取り消し)

1-5-2 個別問い合わせへの対応 (自動化している
ことへの案内、スパムメール苦情への対処、

JARL本部への苦情や意見への対応、
事務局への届け出への対応、

転送サービス取り消しへの対応、
操作ミスへの案内、等)

1-5-3 「不達メッセージ」の集計

多発 and/or 長期放置 登録者の抽出

上記登録者への連絡 << 広報課と協力 >>

上記登録者の登録削除

1-6 不定期作業 (システム管理)

1-6-1 スпамメール対策 (フィルタデータの更新、
システムモジュールの更新判断と更新作業、

特定アドレスの拒否設定、

セキュリティホール対策)

1-6-2 システム負荷管理 (過大負荷時の調整)

1-7 個別対応状況の履歴管理

2. MLサービス

2-1 ML新規登録

2-2 登録内容の変更

2-3 登録者への案内メール送信

2-4 使用方法への質疑メール対応

2-5 会員台帳への記録

3. Webサイトサービス

3-1 Webサイト新規登録

3-2 登録者への案内メール送信

3-3 使用方法への質疑メール対応

3-4 CGIカウンタのサービス

3-4-1 CGIカウンタの用意とメンテナンス

3-4-2 CGIカウンタの使用法案内と質疑

3-4-3 CGIカウンタのリセット

3-5 JARL.COM Web からのリンク設定

3-6 会員台帳への記録

5

KDCF管理チームが行っている業務

4. 検索サービス

4-1 対象サイトの内容確認

4-2 記入事項不備者へのメール確認

4-3 検索システムへの登録

4-4 登録者への案内メール送信

4-5 重複登録者の過去分割除 (ほとんどが過去分リンク切れ)

5. 全般

5-1 一斉メール

5-1-1 一斉メールのテスト

5-1-2 一斉メール実施

5-1-3 リバウンドメールの分析と対処 (宛て先不明者への連絡等)

5-1-4 転送先変更の未手続き者への連絡 << 広報課 >>

5-1-5 長期放置者の登録削除

5-2 高負荷時の対処 (選挙前など)

6

移行方法の技術面での比較

名称	移行方法	サーバの場所	ドメイン名	管理者の移行	移行上のリスク						
					JARL Webとの融合がしやすいか	メール転送登録の自動化ができるか	JARL本部が移行システムで技術内容を理解できるか	KDCFとJARL本部の責任分界の明確さ	サーバ機能に变化がでないか	移行時のリスクの低さ(移行作業は少なく済むか)	技術リスクの低さ(移行作業は少なく済むか)
管理権移行	サイプレスのサーバ管理権KDCFからJARL本部に移動	サイプレスのまま	jarl.com	設定日をもってKDCF JARL本部へ							
サーバ新設	JARL本部にサーバを新設し、サイプレスのサーバから内容に移行	サイプレス JARL本部	jarl.com	移行稼働時は、それぞれのサーバを管理し、DNS設定変更をまとめて責任移行							
サーバ新設、新ドメイン	JARL本部に別ドメインを持つサーバを新設し、サイプレスのサーバと平行稼働後、新ドメインで本稼働	サイプレス JARL本部	jarl.com 新ドメイン名(例 jarl.jp)	平行稼働時は、それぞれがサーバを管理し、告知した設定日をもって責任移行							

7

移行にあたっての条件

- 移行時のサービス停止は皆無とすること
- サービス低下を招かないこと
- KDCFの持つすべての業務を移行させること
- JARL本部とKDCFの役割分担および責任範囲、移行スケジュールを明確にし、文書化すること
- 移行の目的、関係者、上記文書の3点を利用者に公開し、移行の進捗状況を利用者に報告すること

8